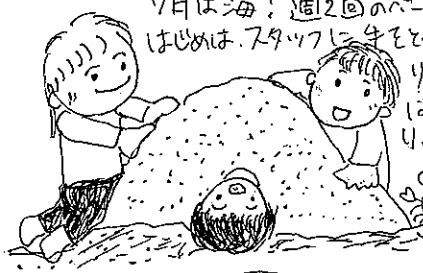
令和5(2023)年8月2日発行　第147号

こびとのおうちえんLetter 8月号

7月は海！



7月は海！週2回のペースで9回行った。(室積7回、丸山海浜パーク2回)
はじめは、スタッフに手をとってもらっておよいでた(やすき)(きょう)(ゆき)(ちほ)は、今ではすっかり深いところでも1人で泳げる(浮けを)ようになった。(ゆき)は、超アクティブで、ずっと泳いだり、あっきーの肩からとんだり、船からもジャンジャンとぶ。(けいご)は、砂にうめてもらってもぞもぞと出てくる一生まれてくるセミになってあそんでいる。海に入るのが イヤな子は1人もいないという許の先生たち。そして、年長中のみんなもどんどん海で成長しているいい 毎回 びっくりな海です。

7月はこんなことしました＝

- セタかざり
- カレー作り
- 室積の海であそぶ
- はっぱのスタンプのバッグ作り
- しいの木へさんぽ
- セミのぬけがらさがし
- 岩のぼり
- 川プール
- 阿波番茶作り
- 穴ほり
- 大なみつとび
- スッポンをさばくのをみる
- 張さん夏キャンプ
- 虫とりさんぽ
- 小豆のたねまき
- 丸山海浜パークであそぶ
- 竹のおはん、コップはし作り(年長児)
- 梅を干す
- 船作り(木工作)
- etc...

10日 はらがいとくん(6さい)

おたんじょうびおめでとう！

8月のスタッフプラン

- 海や川であそぼう！

3日(木) おべんとうの日

錦川でラフティング(年長中)
必年少さんは、通常通りです。
ミーティングでその日のことをきめます。

★おべんとうの準備をお願いします。(年長中・少)
★ラフティング詳細についてはメールをご確認下さい。

8月のペアレンツグループ

29日(火) 13:00～15:00
場所　もみじのいえ
内容　フィーリンググループ …今の自分のきもちについて、ぬいに預れる1時間。メンバーのきもちを聞いて気づくことも多い時間です。ご一緒しましょう。

※参加の方は事前にお知らせ下さいね。当日でもOKです。

☆おしらせ☆ 夏休みは8/11(金祝)～20(日)です。体調をくずさず元気でお過ごし下さいね。

＿＿＿＿の様子をおしらせします

あっきーのコーナー

梅雨が明けて続く夏の日照り！おうちえんの子達はどの子もよく日に焼けている。わたしを含むスタッフも例外でなく、真っ黒！！1日海の日の夕方～夜は顔がヒリヒリする。

平日おうちえんでよく動くので疲労もあるけど、そんな中でも…欠かせない！今の楽しみなのが、(犬)かほの父Nくんが声をかけ始まった月一ソフトテニスだ。かれこれ一年以上続いていて、メンバーも固定化してきている！ 5人で2対2・審判1人のローテーションで試合をひたすらやる。

7月下旬の炎天下、じりじりくる日差しの中、汗だくになって走りラケットを振る中年たち。体力が奪われるのも早い。しかし、ひたすら楽しい！

思ったようにボールがコートに入らず"あーもう!! ごめんなさーい！(ペアに)」

際どいいいコースに打たれて取れず…「そのコース、エグっ！」

わかっているのに前衛の真正面に打ってしまいボレーにやられ、「あああああー」

うまくいかないこと、悔しいこと、そんなことも引っくるめて、勝敗も関係なく、ただただ楽しい。なんというか、とてもいいエネルギーなのだ！

やりたい人が集まって、同じベクトルを向いてやるときのエネルギーは、シンプルで楽しい。気持ちいい。心地いい。

もしい…勝ち負けにこだわっていたり、悔しい気持ちを引きずったり、相手の失敗を許せなかったりすると、それはまた違うエネルギーが働いて…自分の楽しさは半減、周りの人へも影響して場のエネルギー(?)も下がるのかもしれない。

今のわたしは、そんなことにとらわれずソフトテニスを楽しんでいる。それが、今のわたしの心の状態を表していると思っていて、嬉しいなあと思うとともに、やっぱり夏は心が解放されているのを自分で感じワクワクしている。

黙々と田んぼの草取りをしながら、ただこのことを書こう！と思った7月最後の週末。

浜口昭子

よっこのちょこっとおうちえん日誌 ～日々のあれこれ～

6/19 スッポンをとってからずっと(かいと)(かほ)(しょま)がいつどうするのか(にがすのかたべるのか)を決めて言ってくるのを待っていたあっきー。毎日のようにお水かえたりして、もはやペットのようだった。。。そして、

7/24 海から帰ってきたらスッポンが逃げていた!!(フタをしめ忘れてた) すると、7/25 あっきーと(かいと)と(ちほ)がスッポンさがしに行って、また新しいのをつかまえてきた。今回の方がでっかい…。そして、早々にさばく計画をしてた。7/28(金)スッポンをさばいていただく日。あっきーは去年経験してなんだかもうどっしりとしてる。みんなで囲む。首をなかなか出さないスッポン。もうドキドキすぎる。それから首を出した一瞬にグッとつかんで包丁を入れるあっきー。(ちほ)が「血がでてる。いたそう。かわいそう～。」みんなは無言…。丁寧に1つ1つの臓器を出してみせてくれる。心臓がまだ動いてる。手足の筋肉も重かいてる。小さい子たちはしばらくすると見なくなったけど、(しおり)(ぎんつま)(かほ)(かいと)(しょま)(うた)は、とても興味を持って見たりさわったりした。ずっと。

そして、土ばいたお肉をりかさんにからあげにしてもらってお昼にいただいた。おいしい！ スッポンさん、あっきー、りかさんありがとう。おひるからさんぽに出かけた(かいと)は、「スッポンパワーで走れる！」と言ってたそう。(しょま)は、(かいと)がギンヤンマをゲットして帰ってきた。

(7/28)

(ちほ)「森の中でカブトムシがありにかまれてかなしそうにないていた。」
モーニングミーティングのおはなしで。(7/20)

(さゆき)(こと)(うた)とカレー作り。(こと)のセタのねがいごと「カレーがつくりたい」をさっそく。おそとで作っていたら、(けいご)(ちほ)(きょう)がサトイモのはっぱをハダカの身にまとって((けいご)はぼうずりをもち、あっきーは頭にはっぱ)「アマゾンです!!」と言ってやってきた。そしてまた川へ帰っていった…。

(7/7)

海に入ってすぐ手をつないで大きなわかになって寝て浮くのを(ライジャケつけて)(かほ)(ふう)(うた)(ぎんつま)(きょう)(さゆき)(しおり)ももちゃんでやってるのがとってもきれいだった。大きなお花みたい。みんな力がぬけている。(7/26)

(かほパパ)のとけ方をみて思う。この仕事の醍醐味は、母、家族以外の心ゆるせる はじめての他人になれるところかもしれない。もう信頼や好き(きらいじゃない)や開いてる姿や安心してる姿があるのだ。(7/6)

よっこ、ぽんぽこりんだねえ

浜口 よっこをうめる(かいと)(かほ)(けいご)(ぎんつま)たち。

(かほ)がおなかのへんに砂をのせながら「よっこ、ぽんぽこりんだねえ」

全部うまったころには、おなかの上にいっぱい棒が立っていた。

(金矢十吾だそう。) (7/14)